

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年1月31日

事業所名 子どもの広場四日市

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		・人数調整を日々行い、集中できるよう活動の部屋と学習の部屋を分けている。 ・そのスペースでの活動を日々考えている。
	2	職員の配置数は適切である	6	0		・職員間で連携を取っているのが適切であるか、もっと増えれば個別への対応がしっかりできる。 ・利用する人数や対応が必要な子に応じて配置するよう意識している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	6		・バリアフリー化などの工事は資質の為できてないが、安全面に気を付けて対応している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		・情報を共有し合い、支援の方向を考えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		・保護者の評価を元に改善すべき点を話し合い、更に良い事業所となるように努力している。 ・実施している。それを元に改善につなげていこうとしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		・公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		・これからの業務改善につなげていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		・よりよい支援につながる研修があれば参加し情報を共有している。 ・参加できる場合は参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		・支援者や保護者の方の話を聞いて、サービス担当者会議を開き、その子に合わせて計画を作成できてよう工夫している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		・その状況を把握し、療育や支援につなげている。 ・ひとりひとりの特性に合った内容で療育を提示している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		・職員間で話し合い、連携をとって行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		・季節やその子に合わせたプログラムを考えている。 ・工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		・日々、職員間で話し合い、計画性を持って支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		個々に合わせ、支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		・必ず行うようにしている。その日が難しい日は前日や直前になることもあるが、連携をとり行っている。 ・毎朝、役割分担について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		・その日気になった事など情報共有をするようにしている。 ・気づいたことを話し合ったり、伝達したり、情報共有は必ず行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		・記録をもとに職員間で話し合ったり意見交換を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		・定期的に行って、その子に合った計画が立てられるように配慮している。 ・半年に一回の頻度で見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0		・行えるように、活動を考え、計画している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		・管理責任者と必要に応じて療育現場で最も関係ができてい るスタッフが同行し会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0		・行っている。ミスがないように確認をしたり、何かあった時は、すぐに保護者に連絡をとるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6		該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0		・あれば連携を取っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5		・まだ該当者がいない。今後あれば連携を取っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		・受けている。支援につながる研修があればもっと参加していきたい。 ・研修に参加しているが、その機会を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0		・放課後、近くの公園を利用して交流できたらと思っている。 ・交流の機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		・検討していく。 ・参加できるのであれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		・送迎時に状況を伝えたりしている。 ・日々、子どもの状況や様子を丁寧に伝え、話すようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0		・保護者より話ができればできるだけ対応するようにしている。 ・送迎時などに保護者の相談にのったりしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		・利用を始める前に丁寧に伝え、説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		・普段から送迎時を利用し行っている。送迎時で難しい場合は、個別で時間を設けて、行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		・そこまでは出来ていないがしていけるように検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		・速やかに対応できるように心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・ブログで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0		・同意書を取り交わすなど十分に注意して行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		・出来るだけ解りやすく、文字に残すなど心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		・今後何かあれば検討していきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		・保護者への周知は不十分なので今後、実践していきたい。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		・毎月必ず行っている。地震や火災など色々行うようにしてい
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・研修に参加し職員間で報道相を密に行っている。虐待防止に努めている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	・利用前に丁寧に説明し、了解を得ている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・契約時に確認を取る。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		全職員で共有し、対応している。引き続き作成し、共有してい